

## ますます目が離せないニューヨークの人気観光スポット「ハイライン」

ニューヨーク事務所

過去に [CLAIR メールマガジン \(vol.18 2011 年 9 月 9 日\)](#) でも取り上げられているハイライン（廃止され、放置されていた高架貨物鉄道を転用した空中公園）は、今や押しも押されぬニューヨークの観光名所の一つとなった。ハイラインが人気を集める理由は多くある。取り壊されかけていた廃線をかくも美しい公園に転用したユニークさ、地上 9 メートル、ビルの 3 階に相当する高さから望むマンハッタンのスカイラインやハドソンリバーなどの眺めの良さ、野草を交えた美しい草花の植栽、個性的なアート、枕木など随所に残る昔の面影等、その魅力は枚挙に暇がない。廃線後 20 年以上放置され、撤去される運命だったこの廃線は、たった 2 人の近隣住民が保存運動に立ち上がったことから、NY を代表する観光資源へと変貌を遂げる。多くの住民の賛同を得て、やがてはニューヨーク市をも動かしていくことになるハイラインの歴史的経緯は、ドラマティックであり大変興味深い。今回は住民運動から始まったハイラインをめぐる人々の意識の変化に焦点を当てて、レポートする。



公園内で楽しむ人々



ハイラインから見たエンパイア  
ステートビルディング



自生の植物と古い建物が昔の街  
を思い起こさせる。

### 1. フレンズオブハイラインの歴史

ハイラインは、ニューヨーク市が所有し、非営利団体「フレンズオブハイライン」が維持管理をしている。そもそもこの団体は、1999 年に前述の近隣住民 2 人によって設立された。当初 2 人は大それたことを考えていたわけではなかった。この歴史遺産を取り壊すのはあまりに忍びなく、ただ保存したいというシンプルな願いだったという。しかし、その後これは「新しい公共区間を創出するチャンス」ではないかと 2 人は気付く。そして、単なる保存ではなく、新たな都市開発プロジェクトを推進するために積極的な活動を始めた。



市民からの寄付金集めなど地道な活動を通して徐々に賛同者を獲得していった。撤去は当時、ジュリアーニ市長の下、決定されていたことであり、それを覆すのはもちろん容易なことではなかった。しかし、廃線を公園化して成功を収めたパリ東部にある“プロムナード・ブランテ”の先行事例がこの計画の実現可能性に対する信頼感を高めた。また 2001 年 9 月 11 日に起きた同時多発テロ事件による世界貿易センタービル倒壊後のグラウンドゼロ再開の議論は、新たな都市計画をどう作っていくべきかという問題に対する関心を集めた。同時に悲しみを乗り越え、ニューヨークが力強く再スタートを切るためにも、何か前向きことをしたいと考える人が多くなった。これらがハイライン計画を後押ししたのである。こうした市民の声に対し、メディアも好意的であった。

## ハイライン地図

(出典：フレンズオブハイラインホームページ)

そして、環境問題に熱心な保存推進派のブルームバーグ氏が新たな市長に当選したことにより、事態は大きく転換する。市は 2004 年に取り壊し計画を撤回し、約 50 億円の公園化予算を確保。フレンズオブハイラインと連携した公園建設に動き出すのである。また、趣旨に賛同するエドワード・ノートンなどの俳優、歌手のデビッドボウイ、人気デザイナーのダイアン・フォン・ファステンバーグなど多くの著名人がフレンズオブハイラインに莫大な資金を寄付したことで更に注目が集まった。こうしてハイラインは、多くの方の共感と協力を得て現在に至っているのである。

基本的に、公園の建設コストは市が、維持・運営コストの大部分はフレンズオブハイラインが負担する形で役割分担がなされているが、フレンズオブハイラインの拠出額の 9 割が民間からの寄付で賄われていることは特筆すべきである。また、フレンズオブハイラインは、市との契約に基づき、維持管理責任を負っている。

## 2. ハイラインのいま ～最終段階・第3期工事進行中～

ハイラインは、既に完成している第1期、第2期区間のオープンを経て、2012年末から最終区間である第3期工事に入っている。総事業費は、約2億6千5百ドル(238億5千万円)になると見込まれている。市民主導型の街づくりモデルとして世界から注目されているハイライン。多くの住民の夢と思いを乗せた全長2.3キロメートルの空中公園が完成を迎える日を世界が待ち望んでいる。



劇場のような形で道路を見渡せるスペース

### ※ハイラインオープンの経緯

第1期：2009年6月オープン

(ガンズヴォートストリートから20丁目まで)

第2期：2011年6月オープン

(20丁目から30丁目まで)

第3期：2014年春オープン予定

(30丁目から34丁目まで)

※現在、供用されている区間の全長は、1.6キロメートルである。

(鷺岡所長補佐 和歌山県派遣)

CLAIR